

2018年

12月10日(月)

購読のお申し込み 06-6201-5012(代)  
hanbai@sen-i-news.co.jp

発行所 ダイセン株式会社

大阪本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-9 輸出繊維会館 8 階  
TEL(06)6201-5012 Fax: (06) 6226-0106  
E-mail: webmaster@sen-i-news.co.jp

東京本社 〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町 11 乗物町中央ビル 4 階  
TEL(03) 5289-7003 Fax: (03) 5289-7233

中部・北陸支社 TEL(052)451-3850/ 中国・四国支社 TEL(086)224-0250  
上海支局 TEL86-21-6236-7675/ 蕪湖商務諮詢(上海)有限公司 TEL86-21-6236-7672

# 繊維 ニュース

www.sen-i-news.co.jp

## 村トリコットの領域広げる

### 澤 希少性を優位性へ

澤村(大阪市中央区) 入れる。

は、主力商材であるトリコットの「生存領域が広がっている」とし、同素材のアピールを強めて販路開拓に努める。国内生産スペース不足を背景に海外生産の整備にも力を

2018年9月期は微増収減益だった。売的上

のシャツ地がけん引して増、レースも微増だったが、8年間続いていた車

両資材用の生地がモデルチェンジを機にゼロにな

ったことで産量アキスタイルは1割以上の減収だった。製品はアウターOEMと肌着の新規商材がヒットし、増収。

今後もトリコットのシャツ地は拡大するとみ

ルシャツでの引き合いが強まっていることがその背景。ユニフォーム分野

「とんどの引き合いが希少性となり、優位性を生む」とみる。

への提案強化や高強方ナイロン「コーデュラ」使用

課題は生産面。「北陸産地のスペースがタイト」

市場からの引き合いも強まっていると言う。学販

素材の生産を加速する。

ブランドディングも検討する。顧客から「トリコットという素材名ではな

く、生地ブランドが欲しい」との要望が寄せられており、取得して休眠状態のブランドか新規ブランドを立ち上げるかを

含め、検討していく。